

オンライン会議システムを活用して 生徒総会を実施！

6月29日、矢部中学校でオンライン会議システムを活用した生徒総会が行われました。

生徒会と執行委員が図書室からパソコンを通して提案を行い、各教室の生徒たちは、挙手の代わりに予め作成したクラス番号を記したカードを画面に写し、質問・意見・要望の発表を行っていました。執行委員の生徒からは「通常の総会と比べ、皆の表情やリアクションが分かりにくいので、いつもより緊張しました。」という意見や、「リモートの方が発表しやすかった」など様々な感想が出ました。

上村先生は「今回の経験で他校や、博物館などとオンラインでの交流や講義等、可能性の広がりを感じた。その一歩を踏み出せてよかった。」と感想を語られました。



生徒会・執行部の様子(上)と教室側の様子(下)

大きなトマトをありがとう！

7月22日、J A阿蘇南部トマト部会蘇陽支部が蘇陽地区の3つの保育園を訪問し、約170個のトマトをプレゼントしました。

同部会は、山都町蘇陽地区、高森町、南阿蘇村のトマト農家で構成され、毎年、阿蘇南部地域すべての保育園へトマトを贈呈されています。

二瀬本保育園では、有働純一支部長(下山)から園児へトマトの入った大きな箱を手渡されると「大きい！おいしそう！」と嬉しそうなお返事で受け取り、全員で声を合わせてお礼を伝えました。



記念樹を通して交流を～森林整備協定締結～

6月30日、認定NPO法人環境リレーションズ研究所、森林所有者の下田美鈴さん(犬飼)、緑川森林組合および山都町で「森林整備協定」を締結しました。この協定は環境リレーションズ研究所が行う「プレゼントツリー」の取組みによるもので、誕生日や節目に行う記念樹の植樹を通して里山の再生や、記念樹の里親である都市部の方々に里山がある地域に興味を持ってもらい、都市部と地域の人の交流のきっかけを作り、交流人口を増やし、「地域づくりと森づくり」を同時に行うものです。



熊本県南部での豪雨災害へ 支援活動を行っています

7月4日未明に起きた球磨川流域を中心とした熊本県南部での豪雨災害では甚大な被害が出ています。山都町でも被災地での避難所運営、被災家屋の被災判定調査、災害ゴミ集積場での作業等へ毎日職員を派遣しています。新型コロナウイルス感染症の影響でマスクの着用や3密を避けるなど、これまでとは異なる厳しい状況下での復旧・復興作業ですが、職員自身の感染防止や体調管理に十分に気を付けながら支援を続けます。



避難所で段ボールベッドの設営を行う本町職員

『KUMONおはなしエンジェル子ども 創作コンクール』にて銀のエンジェル賞 受賞

蘇陽小学校5年生(受賞当時4年生)の春日彩羽さん(長谷)の作品『空中で泳ぐ金魚』が令和元年度『KUMONおはなしエンジェル子ども創作コンクール』の「小学校中・高学年の部」で「銀のエンジェル賞」を受賞しました。

このコンクールは、多くの子ども達に創作を通して物語の楽しさを体験してもらおうと、日本児童文学者協会・日本児童文芸家協会の二つの著作者団体によって創設された、子どもの創作コンクールです。

彩羽さんは「このお話は、私が小学4年生のゴールデンウィークに書いたものです。じいちゃん、ばあちゃんの家で金魚を題材にしました。「おはなしエンジェルコンクール」で銀賞と知ったときは驚いたけれど、本当に嬉しかったです。東京で行われた表彰式では、有名な作家の先生とたくさん話をする事ができて、とても良い経験になりました。これからも、他の作品を書いてみたいです。」と受賞の喜びや感想と、これからの意気込みを話してくれました。なお、彩羽さんの作品は蘇陽小学校のホームページでも読むことができます。



次に見られるのは6800年後！ネオワイズ彗星☆シ

アマチュア天文家として清和を中心に星空の授業等の活動をされている折尾拓美さん(米生)がネオワイズ彗星(すいせい)の撮影に成功されました。今年は例年に比べ梅雨の間の晴れ間が少なく、この時も1週間程撮影チャンスを待たれたそうです。折尾さんは「条件が中々揃わないなか、カメラで記録に残せてよかった。米生の別荘地から撮影しましたが、改めて山都町の星空環境の良さを感じました。皆さんにとって当たり前の星空の素晴らしさを再度認識していただきたい。」と想いを語ってくださいました。また、この季節、天の川の撮影や、天文台での木星の観察に適しているとのこと。ぜひ、夏の思い出に星空撮影や、天体観測に取り組んでみてはいかがでしょうか☆



折尾拓美さん撮影 7月20日午後9時頃(Canon EOS、18mm広角、ISO:3200、露出20秒、絞りF4)

通潤橋をできるしこで、綺麗に

6月24日、山都町老連の岳寿会の皆さんが通潤橋周辺の草刈りを行いました。毎年観光客が増える時期に合わせて年に2回、8年前から実施されています。

今回も17名の方が約3時間半にわたり、小道や斜面、通潤橋を望む際、視界に入る畑の草刈りなど景観を意識した作業が行われました。



ゴイシツバメシジミの保護増殖のために

6月25日に熊本森林管理署と山都町の間で「ゴイシツバメシジミの保護増殖に係る連携と協力に関する協定」を締結しました。

ゴイシツバメシジミは、シジミチョウ科に属する蝶で全国でも山都町と水上村にしか生息しておらず、個体数も減少傾向にあり、積極的な保護対策が必要となっています。この蝶は、生態が不明な点も多く、その幼生は希少性の高い植物であるシシンランを唯一の餌とするため、保護することが非常に難しい状況です。

今後、生息域を管理する熊本森林管理署と連携と協力を深め、保護対策を進めていくこととしています。

